

HSC コードに関する統一解釈（機関関連）に関する事項

改正要領

高速船規則検査要領
（日本籍船舶用）

改正事項

HSC コードに関する統一解釈に関する事項

改正理由

IACS は、これまで国際条約等に対して多くの統一解釈を策定してきており、本会としても、上記条約の適用においてこれらの統一解釈を適用してきている。しかしながら、必ずしもすべての統一解釈を鋼船規則等に明記していなかった。

一方、IACS は 2006 年 10 月に統一手順 No.31 を採択し、上記を含むすべての統一解釈について、船級規則に取り入れる又は適用することを明記する等により、統一解釈の厳格な適用を図ることを決めた。

今般、HSC コードに関する IACS の統一解釈のうち、これまで規則等に取り入れていなかった統一解釈に基づき、関連規則等を改めた。

改正内容

- (1) デッドクラフト状態の定義の解釈を定めた。(UI HSC 7)
- (2) 単胴船にあって、プロペラ軸及び軸受が後方の機関室を通過する場合の保護要件を規定した。(UI HSC 6)